

令和4年8月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 293(2022年8月)

■専門図書館協議会主催 2022年度全国研究集会「利用者視点で見つめなおす専門図書館の価値と役割～多様化する専門図書館の“利用”と向き合う～」報告

日時：2022年7月20日13:30～17:20

参加者：佐々木絵理

今年度の専門図書館全国研究集会では「改めて“利用する”という視点から専門図書館を考える」という趣旨に沿った様々な分野からの講師が招聘され、昨年に引き続きオンラインで講演が行われた。二日間のうち一日目のみの受講であったが、当館の所蔵資料やサービスを必要とする利用者の方々に、より一層活用していただくためにはどんなことが必要か、ヒントになるような講話を拝聴することができ、有意義な受講となった。

第1分科会では、「ファミリーヒストリーを支える図書館でのリサーチ取材」と題し、NHK第2制作センターチーフ・プロデューサーの佐々木麗氏が、NHKの人気番組である『ファミリーヒストリー』制作における専門図書館の役割、取材時の苦労などを、番組の映像なども交えながら講演された。当館も番組制作関係者らの調査に度々利用していただいているが、調査の上でどんな情報が求められているのかを瞬時に把握し、的確な資料を提供することの重要性を改めて実感した講演であった。また、図書館のレファレンスサービスはまだまだ認知度が低いといった指摘もあり、所蔵資料に関する情報を必要とする人まで届けるためには、ネット上から検索し

た情報から図書館へと導く仕組み作りが極めて重要である、という認識を新たにした。

第2分科会では、「札幌市図書・情報館における人に寄り添う選書と配架」と題し、札幌市中央図書館利用サービス課長の浅野隆夫氏が、課題解決型図書館というコンセプトのもとリニューアルオープンした札幌市図書・情報館で行っている様々な取り組みや工夫、大切にしていることなどについて講演された。当館でも現在ミニ展示などを行っているが、資料をより身近に感じてもらい多くの方に利用していただくためには、今後さらにどのような取り組みができるか、改めて考える良い機会となった。

第3分科会では、「“活用”を通して組織アーカイブズの価値を探る」と題し、様々な企業アーカイブズの事例紹介が行われた。なかでも資生堂アート&ヘリテージマネジメント部の小泉智佐子氏による「資生堂における企業アーカイブズの成り立ちと活用について」と題した講演が特に興味深く、勉強になった。資生堂は、「わが社創業以来の貴重な歴史的活動の記録や資料の散財を防止するとともに、社内の資料整備環境を整えるために、資料館を本部とする資料収集、保管体制を確立する」(1989年常務会資料)と、企業アーカイブズの重要性を明確にし、企業の精神性や価値観を社会一般に広く広げる手段としても積極的に取り組んできた先進的企業と言える。資生堂企業資料館における資料収集からデジタル化、活用への取り組みと、ヘリテージの情報や素材を一元的に検索、使用することができる総合サイト・資生堂アーカイブズについての解説は、大変参考になった。

その他にも、公益財団法人渋沢栄一記念財団情報資源センターによる企業史料プロジェクト等アーカイブズ関連事業についての講演、自由学園図書館・資料室や東京国立博物館学芸研究部百五十年史編集室による講演が行われ、第一日目の分科会は終了した。

初めての専図協全国研究集会への参加だったが、このような機会を積極的に活用しながら、今後も利用者の方々に喜んでいただけるような図書館を目指し日々学んでいきたいと思う。

目次:

専門図書館協議会主催 2022年度全国研究集会「利用者視点で見つめなおす専門 図書館の価値と役割～多様化する専門図書館の“利用”と向き合う～」報告	1
第92回所蔵資料ミニ展示「映画・芝居に描かれた沖縄」関連資料ご紹介(映画篇)	2
歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第8回が掲載されています	2
音貞オッペケ祭実行委員会様より川上一座復刻劇関係資料をご寄贈いただきました	2
『BRUTUS』公式WEBサイトの「VISIT 訪れる」で当館をご紹介いただきました	3
新着資料案内	3
資料提供	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
夏期特別整理休館のお知らせ	4
利用案内	4

■第92回所蔵資料ミニ展示「映画・芝居に描かれた沖縄」関連資料ご紹介(映画篇)

現在当館閲覧室にて、8月12日まで開催中のミニ展示『映画・芝居に描かれた沖縄』。今回のニューズレターでは、映画の関連資料をご紹介します。

戦後、沖縄がアメリカ統治下となった時代にも、本土では沖縄をテーマとした映画が多く作られてきました。しかし、実際に沖縄でロケが行われた映画が製作されるのは、昭和34[1959]年まで待たねばなりません。この年に公開された松竹大船映画『海流』は、戦後初の沖縄長期ロケが行われた映画で、堀内真直が監督を務め、岡田茉莉子、大木実が出演しています。原作は週刊誌に連載された新田次郎の人気小説で、映画化に複数の映画会社が名乗りをあげましたが、松竹がその権利を獲得しました。『海流』のプレスシートにも、「戦後初の沖縄大ロケーションを条件に松竹がその独占映画化に成功した」と記されています。

今回の展示では、この作品のポスター形式の資料である「写真ニュース」を展示しています。この写真ニュースにも、「沖縄本格長期ロケ」との見出しがあり、日傘をさして



閲覧室展示風景、左が「写真ニュース」



『海流』スクラップブック

撮影に臨む岡田茉莉子を取り巻く沖縄の人々の姿が写った撮影風景などの写真が載っています。

また、今回は展示していませんが、この作品のスクラップブックに

も、沖縄での撮影を伝える新聞記事が多く貼られています。昭和34年7月13日にロケの本隊が沖縄に到着するも、翌14日から18日まで台風のため撮影ができず、天気が回復した翌19日から22日までの4日間で撮影した、という逸話が書かれた記事などを読むことができます。『海流』は、首里城、中城、胡座(コザ)、ひめゆりの塔、黎明の塔、万座毛など、沖縄本島の各地で撮影されており、本土復帰前の沖縄の貴重な風景が映された映画です。

展示期間:2022年7月1日～8月12日

展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室

※展示は予約なしでご覧いただけます(状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます)。※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話:03-5550-1694(平日:10時～17時)

■歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第8回が掲載されています

当館スタッフが執筆を担当する歌舞伎座筋書連載【松竹大谷図書館の名品】。8月は、当館所蔵の「番付と筋書」です。

当館では、江戸末期から明治・大正時代の貴重な興行資料である「番付」や「筋書」を数多く所蔵しています。芝居の「番付」とは演目の内容や配役を記したもので、「辻番付」は現在のポスターやチラシにあたります。「筋書」は、演目のあらすじなどが掲載されたもので、現在も観劇のお供やお土産として人気です。あらすじの他にも舞台写真や読みもの、インタビューなどが掲載されるようになりましたが、このような形式に至るまでの「筋書」の歴史的な変遷を、写真を交えながらご紹介しています。歌舞伎座の八月公演は、筋書の連載記事もぜひご覧ください。

また、当館のホームページ内のデジタルアーカイブで番付や、歌舞伎座の戦前までの絵本番付と筋書を公開しております。そちらもぜひ検索してみてください。

▽デジタルアーカイブ《松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム》はこちら

https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php



大正6(1917)年8月筋書表紙

■音貞オッペケ祭実行委員会様より川上一座復刻劇関係資料をご寄贈いただきました

7月7日、当館へご来館された音貞オッペケ祭実行委員会の長谷川様、茅ヶ崎市美術館館長で音貞塾塾頭の小川様より、音貞オッペケ祭で上演された川上一座の復刻劇関係資料をご寄贈いただきました。復刻劇の台本を当館でもお読みいただけますので、ご興味おありの方は是非お席をご予約の上ご来館ください。また、音貞オッペケ祭Facebookでも、当館への資料ご寄贈の件をご紹介いただいております。

▽音貞オッペケ祭Facebookはこちら：<https://www.facebook.com/otosada.oppeke>



右:松竹大谷図書館 武藤
左:音貞塾塾頭 小川様

『BRUTUS』公式WEBサイトの「VISIT 訪れる」で当館をご紹介いただきました

歌舞伎座裏に所在する出版社、マガジンハウス様が発行する雑誌『BRUTUS』の公式WEBサイトの「VISIT 訪れる」で、当館をご紹介いただきました。東銀座・木挽町通り境界の「文化を継承する5軒」ということで、当館も日頃よりお世話になっている歌舞伎演劇専門古書店・木挽堂書店様などと共に取り上げていただいております。ぜひご覧ください。

▽『BRUTUS』の公式WEBサイトはこちら

「肌で感じる江戸～昭和の文化。東銀座には活版、歌舞伎、映画、音楽を守る人たちがいる」

https://brutus.jp/ginzakobikicho_culture/

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系7月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『當世流小栗判官』	○			
	『夏祭浪花鑑』			○	○
	『雪花三景 中団』	○			
	『風の谷のナウシカ』	○			
新橋演舞場	『愛の設計図』	○			
	〈映像〉藤山寛美 徳面影			○	○
	『大阪ざらい物語』	○			
	『桂米朝一門会』				
南座	『レビュー in Kyoto』	○		○	
	『坂東玉三郎特別舞踊公演』			○	○
	『八重桐廓噺 姫山姥』	○			
松竹座	『浮かれ心中』	○			
	『堀川波の鼓』	○		○	○
	『祇園恋づくし』	○			
	『御挨拶』				
地方巡業	『操り三番叟』			○	
	『連獅子』	○			

◆他社演劇公演資料 (2022年 5月-7月) (順不同) 『女流義太夫公演inエンパク』早稲田大学大隈小講堂プログラム/『大曲丸一段に挑む素浄瑠璃公演inエンパク』早稲田大学大隈講堂プログラム/『長唄協会夏季定期演奏会』国立劇場小劇場プログラム/『中村京蔵中村いてう踊りの會』国立劇場小劇場プログラム/新劇交流プロジェクト公演『美しきものの伝説』俳優座劇場プログラム、台本/『田園1968』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム、台本/『CROSS ROAD』シアタークリエイションプログラム/『サイズ&ドールズ』帝国劇場プログラム/SEPT ReAnimation『ARIARIUM(アリアリウム)』博品館劇場プログラム/『第18回朗読の日』博品館劇場プログラム/『舞台 リブシンカ ヒールをはいた男! ?たち』博品館劇場プログラム/劇団印象-indian elephant『ジョージ・オーウェル沈黙の声』下北沢駅前劇場プログラム/SPIRAL MOON『小刻みに戸惑う神様』下北沢「劇」小劇場プログラム/serial number『Secret War ひみつせん』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/劇団アンパサンド『サイは投げられた』アトリエヘリコプタープログラム/流山児★事務所『黒塚 一ツ家の闇』ザ・スズナリプログラム/『ノートルダムの鐘』神奈川芸

術劇場ホールプログラム/『第7回翔之會』国立劇場小劇場プログラム/『第38回舞踊・邦楽公演』国立文楽劇場プログラム/『第39回文楽鑑賞教室』国立文楽劇場プログラム/『文楽若手会』国立文楽劇場プログラム/『第139回民俗芸能公演』国立劇場小劇場プログラム/『第201回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第102回歌舞伎鑑賞教室』国立劇場大劇場プログラム

◆映画資料 (順不同) 『モエカレはオレンジ色』台本、ポスター、プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『神々の山嶺』『映画ざんねんないきもの事典』『ハケンアニメ!』『海上48hours 悪夢のパカンス』『キングダム2 遥かなる大地へ』『炎のデス・ポリス』『ミニオンズ フィーバー』『カメラを止めるな!』『特『刀剣乱舞 花丸』雪月華月ノ巻』『アルピニスト』『バズ・ライトイヤー』『リコリス・ピザ』『ブラック・フォン』『ベイビー・ブローカー』『東京2020オリンピック SIDE:B』『ザ・ロストシティ』『パスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版』『メタモルフォーゼの縁側』『ソー：ラブ&サンダー』『ロキ』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Bunkamura magazine』No. 202, No. 203/『Confetti』2022年August/『JPL』No. 85/『the座』113号/『あぜくら』2022年7月号/『えんぶ』2022年8月号/『ほうおう』2022年9月号/『コメディアン』667号-684号/『ステージびあ』2022年7+8月号/『テアトロ』2022年7月号臨時増刊号演劇名鑑2023年度版, 8月号/『ミュージカル』2022年7月-8月号/『ラ・アルプ』2022年8月号/『演劇映像』63号/『喝采』2022年10月号/『芸劇BUZZ』Vol. 40/『劇評』令和4(2022)年6月, 7月/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol. 51/『国立演芸場公演ガイド』令和4年7月号/『大向う』令和4年7月号/『日本演劇興行協会会誌』62号/『日本劇作家協会会報 ト書き』68号/『日本照明家協会誌』2022年7月号/『日本舞踊』74巻8月号/『邦楽の友』令和4年8月号

◆映画雑誌 (順不同) 『NFAJニューズレター』17号/『NFAJプログラム』No. 38/『SCREEN』2022年9月号/『TVガイド』2022年7/15号, 7/22号, 7/29号, 8/5号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年9月号/『キネマ旬報』2022年7月下旬号, 8月上旬号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 44/『シナリオ教室』2022年8月号/『ドラマ』2022年8月号/『ロケーションジャパン』2022年8月号/『映画テレビ技術』2022年7月号, 8月号/『映画時報』2022年6月号/『映画論叢』60号/『松竹[社報]』230号/『日経エンタテインメント!』2022年8月号/『友 Iwanami Hall』2022年夏号(最終号)No. 398/『藝術学研究』32号

資料提供 (2022年6~7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『歌舞伎特選DVDコレクション第73号』2022年6月1日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「秋草図掛軸」を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第75号』2022年6月29日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「歌舞伎絵衝立」を提供/『松竹グループ社報230号』2022年7月20日松竹株式会社 台本『冬の運動会』を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第77号』2022年7月27日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「歌舞伎海外公演の記録」を提供/Clemens Buttner『Symphonic Concert Life and Concert Venues in Tokyo 1868?1945』2022年Logos Verlag Berlin 歌舞伎座外観及び内部写真を提供

【プログラム掲載】「六月大歌舞伎」2022年6月歌舞伎座 連載「松竹大谷図書館の名品」に歌舞伎台本、書抜、竹本床本、竹本三味線譜本を提供/「六月博多座大歌舞伎」2022年6月博多座 『新演芸』より「市村座楽屋での六世菊五郎とアンナ・パブロワ」を提供/「七月大歌舞伎」2022年7月歌舞伎座 連載「松竹大谷図書館の名品」に歌舞伎海外公演のプログラム、現地新聞、貼り出し、大入袋を提供

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和4[2022]年7月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (敬称略)

大塚宏之

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2022年6月6日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際は引き続きマスクの着用と手指の消毒をお願い致します。

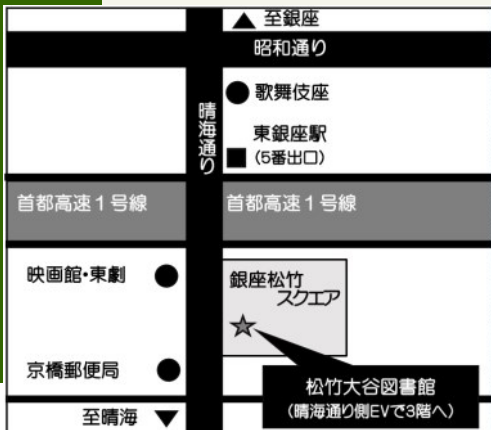
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和4年8月13日(土)より
夏期特別整理休館のお知らせ
8月28日(日)まで
8月29日(月)より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ

[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP●<http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook●<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>